

1 はじめに



1.1 愛媛道ビジョン改訂の背景

愛媛県では、平成15年12月に、本県の道づくりの方向性を示す「愛媛道ビジョン～愛媛の元気創造のために～」を策定し、道路整備を推進してきました。

しかし、「愛媛道ビジョン」の策定から約10年が経過し、東日本大震災を教訓とした大規模災害への備えや、施設の老朽化対策など、その後の社会情勢等の変化を受けた新たな課題が生じています。

このような状況に対応するため、学識経験者や行政関係者、観光・運輸関係者など、様々な分野の有識者で構成する「愛媛県道路懇談会」での議論や、パブリックコメントによる県民の皆さんのご意見等を踏まえ、今後、概ね10年間の道づくりの方向性を示した「愛媛道ビジョン 2016」を策定しました。

この「愛媛道ビジョン 2016」の推進により、本県の長期ビジョンの基本理念「愛のくに 愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現に向け、関係機関とも協力しながら、引き続き、本県の道づくりを進めていきます。

1.2 愛媛県のすがた

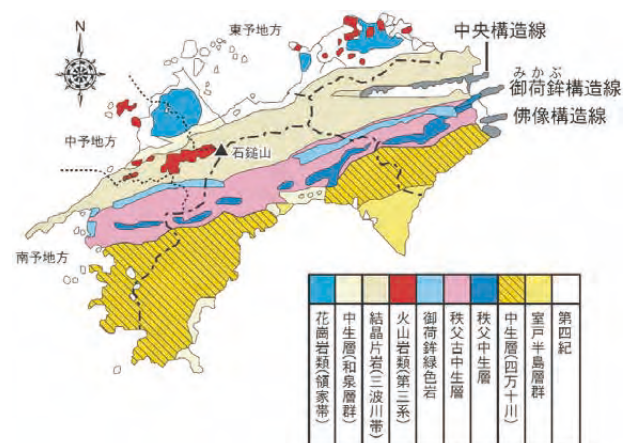
本県の県土は、東西約160kmと細長い地形で構成されており、総面積は5,679km²で全国25位の広さを有し、県土の約70%が林野となっています。全土が石鎚山（標高1,982m）をはじめ四国カルスト等の険しい山岳地形となっています。また、瀬戸内海や宇和海には大小200余りの島々が点在し、有数の離島県となっています。

本県の人口は139万人(H27.4.1 愛媛県推計人口)、11市9町の20市町から構成されており、主に、東予は工業、中予はサービス業、南予は農林漁業が盛んな土地柄となっています。

本県の地質は、県土の長軸方向をほぼ平行に縦走る中央構造線・御荷鉾構造線・佛像構造線により4地区に区分され、5つの地質帯で構成されています。これらは、いずれも風化剥離性の高い脆弱な地質であり、特に本県の大部分を占める三波川変成岩帯は、変成、圧砕の影響を受けて複雑な地質構造となり、地滑りや崩壊の多発地帯となっています。このため台風や豪雨等による災害を受けやすくなっています。



【愛媛県の位置】



【愛媛県の地質状況】